

平成29年第4回定例会 第3号 12月1日

3. 個人質問 さんむ21 石川和久 議員

① 防犯対策の充実について

② 通学路の安全対策について

○2番（石川和久君） 議席番号2番、さんむ21、石川でございます。議長にお許しをいただきましたので、一般質問に登壇させていただきます。

まず、防犯対策の充実について、質問していきたいと思います。

山武市での犯罪被害は、千葉県警察署のホームページで見えますと、刑法犯認知件数で、平成28年中に、山武市の件数は462件、近隣の状況は、東金市が700件、八街市が682件、大網白里市が354件、九十九里町が115件、横芝光町が117件でございます。

件数の推移で見えますと、平成19年中の849件から、年々減少して、平成28年度、462件では、約半数と減少傾向にあることがわかります。これは、全国的な推移と比較しても、ほぼ平均的な数値でございます。

我が市では、このような犯罪から市民を守るために、「住みやすい環境と安全なまちづくり」を、山武市総合計画の重要施策と位置づけ、防犯対策の充実に取り組んでいるところでございます。施策の目指す姿、「犯罪がおきにくく、安全なまちになっていきます」とありますので、しっかりと実現していただきたく、防犯対策の充実について、質問をしていきたいと思います。

山武市総合計画後期基本計画、2の6、防犯対策の充実の目標を達成するために、山武市では、どのような取り組みをされていらっしゃるのでしょうか。伺いいたします。

○副議長（能勢秋吉君） 市長、御登壇願います。

○市長（椎名千収君） 石川議員には、防犯の問題につきまして、御質問をいただき、ありがとうございます。私、千葉県の防犯協会の理事長もやってございますので、この場をおかりして、御礼申し上げます。ありがとうございます。

日ごろ、防犯協会のメンバーをはじめ、多くの方々に、地域防犯につきまして、大変御苦労いただいていることを、この場をおかりして、また、改めて御礼を申し上げたいと思っております。

山武市の取り組みといたしましては、総合計画の後期基本計画では、政策2、住みやすい環境と安全なまちづくり、暮らしやすい環境の整備において、施策6、防犯対策の充実ということでございまして、安全安心で、市民が暮らしやすいまちを目指し、基本事業において、後期めざそう値を設定して、各種防犯対策の事業を進めてまいっておりますが、一つ一つにつきましては、部長のほうから御答弁させていただきます。

防犯全体につきまして、これからもよろしくお願い申し上げます。答弁とさせていただきます。よろしくお願いします。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 具体的な取り組み状況でございますが、防犯協会や防犯パトロール隊による青色回転灯装着車、いわゆる青パトでございますが、青パトでの市内全域の防犯パトロールや、ボランティアの方々による小中学生の登下校の見守り活動、子ども110番の家の設置など、地域住民、警察、行政が一体となり、防犯活動を実施しております。

また、駅前自転車駐車場等への防犯カメラの設置や夜間の安全確保のためのLED防犯灯整備事業、不審者情報など、発生を速やかに市民に伝達するためのメール配信事業などを実施しております。

啓発活動といたしましては、広報さんむへの地域安全ニュースの掲載、各地区への回覧、防犯キャンペーンでの啓発物資の配布、防犯啓発看板やのぼり旗の設置など、市民の防犯意識の向上にも努めているところでございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 施策や事業に、成果指標を設けていると思いますが、具体的な施策の成果指標と基本事業の成果指標の現状値についてお伺いします。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 政策2、施策6、防犯対策の充実の成果指標でございますが、人口1,000人当たりの刑法犯認知件数と、安全で安心して住めると思う市民の割合としてございます。

山武市の平成28年度の人口1,000人当たりの刑法犯認知件数は9件で、平成27年度に比べ、1件減少しております。

また、まちづくりアンケートの結果から、安全で安心して住めると思う市民の割合は、71.8%となり、平成27年度の68.4%から3.4ポイント増加し、後期めざそう値を達成することができました。

なお、基本事業の10指標のうち、防犯灯設置要望対応数、対応率など、3指標で、後期めざそう値を達成し、7事業が未達成という状況になってございます。

以上でございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 平成28年度まちづくり報告書で、2の6、施策を取り巻く環境変化と課題が挙げられております。今後の市の取り組みについてお伺いいたします。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 先ほど、冒頭で、議員のほうからお話いただきましたように、山武市の刑法犯認知件数につきましては、年々、減少傾向にあるという状況でござい

○2番（石川和久君） 5,469人ということで、1万人近く登録されれば、山武市安心安全メールも、非常に活用の意味が出てくるかなと思いますので、今後、引き続き、取り組みのほうをお願いします。ぜひ、このサービスを幅広く皆さんに利用していただきたいという思いと、もう一つ、現在利用されている方も、不審者情報のその後の情報など、もう少し具体的な情報が欲しいという要望等もありますので、その辺の改善も踏まえて、今後、取り組んでいただきますように、お願い申し上げます。

次に、防犯灯設置について伺いたいと思います。

こちらのLED防犯灯整備事業は、毎年、予算を決めておられて、取り組んでおられる重要な事業だと認識しております。私も、毎年、決算審査委員会等で、毎年の状況は御説明を受けていますが、何点か質問していきたいと思います。

平成28年度のLED防犯灯整備事業の状況はどうでしょうか。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） LED防犯灯の設置件数ですが、平成28年度は530基でございます。そのうち、内訳としまして、新設が57基ありました。これによりまして、LED防犯灯の累計は6,615基になりまして、防犯灯の総数は7,856基で、LED防犯灯設置率は84.2%になったというところでございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） この防犯灯整備事業は、防犯灯設置要綱に基づいて、毎年、計画的に取り組んでおられますけれども、要望書提出から設置までの流れについてお伺いします。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） LED防犯灯の新設には、山武市防犯灯設置要綱の規定に基づき、毎年10月末までに、区や自治会の代表者から、設置要望のありました案件につきまして、設置基準を満たした場合におきまして、翌年度に予算の範囲内で、LEDの防犯灯の設置を行っているというところでございます。

10月末までに取りまとめし、予算を要求し、予算がつけましたら、それにつきまして、翌年のおおむね7月ごろに発注して、大体8月末ぐらいまでには、設置を完了するという流れになってございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 近隣市町の要望書提出から設置までの流れについて、お伺いしたいと思います。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 近隣市町に聞き取り調査をいたしました結果でございます。

東金市、芝山町、八街市につきましては、新設要望の締め切りを、締め切り日を設定し

て、取りまとめ、設置の必要性を検討し、年度内に、予算の範囲内で設置している。いわゆる同じ年度内に、要望を取りまとめをして、年度内に設置をしているというところでございます。

また、横芝光町と九十九里町につきましては、新設の申し込みを随時受け付けをし、設置の必要性を検討し、年度内に予算の範囲内で設置をしている。こちらにつきましても、同じ年度内での取り扱いになってございます。

なお、大網白里市につきましては、新規申し込みを随時受け付けとし、山武市と同じように、翌年度に設置をするという流れになってございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 今まで、山武市は計画的に取り組んでこられたことは、大変評価するところだと思います。しかし、大変危険で、早急に対応しなければならない場所等もあると思います。現在は、そういった場合には、どのような対応をされておられますでしょうか。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 新規設置につきましては、計画的に設置するため、原則、区・自治会長から要望をいただいた翌年度としてございますが、犯罪の発生や交通事故が多いなど、防犯上、緊急性がある場合につきましては、予算の範囲内において、申請年度中に設置をするなど、柔軟な対応をとっているところでございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） すみません、一緒に質問をすればよかったです。

緊急を要する場所は、判断的にどのようなものなのか、わかる範囲で教えていただきたいと思います。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 平成28年度におきましては、例えば、通学路の交通安全プログラムの合同点検を実施したというところでの指摘を受けまして、設置したほうがいだろうという指摘を受けたところでありましたり、実際に犯罪が起こったところのLEDランプをつけても、暗いという状況があったところから、早急につけたほうがいだろうという判断をしたところはございました。

以上でございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 先ほどお話ししましたとおり、今の山武市設置要綱では、新規設置から半年から1年、翌年度になってしまうというところもあります。設置率が84.2%を超えて、新規設置台数も57台と、年々穏やかになってきているところを見ますと、要綱の一部を改正し、全てを年度内に、早期に対応する必要があると思いますが、市の見解をお

伺いしたいと思います。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 今まで、私どもの設置のやり方としましては、区や自治会からの新設要望につきまして、それを確実に実施するために、前年度に御要望いただいて、翌年度にというやり方をしてまいりました。

ただ、先ほど議員がおっしゃったように、年々穏やかに設置の数も、大体安定してきているという状況におきましては、もう少し柔軟な対応もとれるのかなというところがございます。

ですから、平成30年度以降につきましては、近隣の設置の手順や状況を参考に、早期設置の実現について、検討してまいりたいと考えております。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 近隣の市町の状況など、比較していただいて、要望から設置までの期間を短縮できるようにしていただければ、要望された方も、地区の方々も安心できると思いますので、ぜひ改善していただきたいと思います。こちらは要望とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、防犯カメラの設置についてお伺いします。

防犯カメラは、被害を未然に防ぐ抑止力及び犯人逮捕につながる証拠にもなることから、全国の自治体で、防犯カメラの設置が、現在進められております。技術の進歩のおかげで、性能が非常に高くなり、その鮮明さは服装の色や模様等もはっきりわかるようになり、人探し等にも十分威力を発揮し、事件の解決にも大きな役割をもたらすようになっております。

本市は、駅周辺や駐車場、出張所等、出先機関などに、防犯カメラを数台設置していることは、私も認識をしております。

そこで、質問ですが、現在の本市の防犯カメラの設置状況をお伺いします。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 防犯カメラの設置の状況でございます。

現在、市が設置している防犯カメラは、108台になります。設置場所は、成東駅自転車駐車場に13台、日向駅自転車駐車場に4台、松尾駅自転車駐車場に6台、学校に9台、松尾駅南側の空港シャトルバス駐車場に4台、庁舎内外に29台、出張所等、出先施設に43台の設置をしております。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 今後の設置計画について、次にお聞きしたいと思います。

今の御答弁では、108台、防犯カメラの設置に取り組んでおり、市民の安全の確保に取り組んでられているとのこと。しかしながら、防犯カメラの設置拡大には、いまいち、

まだつながっていないような感じもします。

今後は、防犯カメラ等設置等に関する要綱などを作成して、施策事業としても取り組む必要があると思いますが、いかがでしょうか。

○副議長（能勢秋吉君） 市民部長。

○市民部長（小川宏治君） 議員おっしゃるように、防犯カメラにつきましては、犯罪の抑止力、犯罪発生時の犯人の早期検挙、事件解決への大きな役割を担っております。

しかしながら、その効果が認知される一方で、防犯カメラによって、プライバシーを侵害されると感じる人もおり、撮影される人への配慮が必要となってきます。

市民が安心して、安全に暮らせるまちづくりを目指し、防犯カメラによる犯罪抑止と市民等のプライバシーの保護の両面の観点から、現在、山武市防犯カメラの設置及び運用に関する条例の平成30年度4月制定に向け、準備を進めているところでございます。

また、区や自治会が犯罪防止のために、自主的に設置する防犯カメラに対する補助を行うため、山武市防犯カメラ設置補助金交付要綱の制定につきましても、あわせて準備を進めているところでございます。

来年度の計画というところでございますが、県の補助事業を活用して、犯罪の発生状況に鑑み、警察と関係機関と防犯の犯罪の抑止のために、効果的などということで、駅前のロータリーであったり、今、蓮沼公園の付近等への設置について、現在、協議を進めているところでございます。

以上でございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） ぜひ、引き続き、そういった取り組みをよろしくお願いしたいと思います。

先ほど、防犯カメラの設置状況で、学校に9台とありますが、その9台の状況と設置理由についてお聞きしたいと思います。

○副議長（能勢秋吉君） 教育部長。

○教育部長（小川雅弘君） 学校における現在の防犯カメラの設置台数でございますが、成東東中学校に5台、山武中学校に4台の計9台でございます。

設置理由でございますが、両校とも、以前、投石による窓ガラスの破損被害があったため、その抑止策として、防犯カメラを設置しております。

成東東中学校においては、平成21年度に新校舎が完成し、その際にも、設置をした経緯がございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 今後、例えば、そういった防犯、抑止のために、全ての学校に設置する計画等がありますでしょうか。

○副議長（能勢秋吉君） 教育部長。

○教育部長（小川雅弘君） 御提案いただき、ありがとうございます。

私どもも、昨今の社会状況から、子どもたちの安全性の確保や各学校施設の管理上、防犯カメラの必要性を感じているところでございます。

現状、計画等はございませんが、今後は限られた教育予算の中で、県の補助金等を活用し、学校からの要望に即した整備を促進したいと考えております。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） ぜひ、こちらにも要望とさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

次に、通学路の安全対策について伺います。

こちらの質問は、昨日の市川議員の質問と大分重複する点がございますので、今回の私の質問の要点を、山武市の通学路の安全対策を理解した上で、質問していきたいと思えます。

今回の質問は、通学路交通安全プログラムで行う合同点検時に、危険箇所をどう点検して、把握しているかということでございます。

1つ例を挙げさせていただきますと、南郷小学校の通学路でございます。学校に面する道路で、県道、市道両方でございますが、この道は、半数以上の生徒が通る道といっても、おかしくない道でございます。道路は劣化が進み、大分傷んでおりますし、横断歩道や車線も消えかかっている状態でございます。

もちろん、グリーンベルトもなく、危険な状態で、今は、一部、グリーンベルトの設置等をされているようでございますけれども、保護者の方が大変困っている状態でございます。

こちらの状況にいたしましても、前回の交通安全点検箇所一覧には載っておりませんでした。そのような状況だと、どこを調べたのかなというところが気になるところで、ほかの小中学校も大丈夫なのかなと心配に思ってしまうところでございます。

そのような点から、3点、質問したいと思えます。

通学路交通安全プログラムでは、合同点検時に、重点課題を置くかとありますけれども、合同点検時の重点課題はどういったものでしょうか。

○副議長（能勢秋吉君） 教育部長。

○教育部長（小川雅弘君） 重点課題でございますが、各学校から要望されました緊急を要する危険箇所でございますし、優先順位の高い課題でございます。通学路安全プログラムでは、この重点課題解消を中心に、重点課題以外の課題も含め、各関係機関と連携し、解決を図っているところでございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） 具体的な点検方法についても、要は、危険箇所の把握のされ方をお伺いします。

○副議長（能勢秋吉君） 教育部長。

○教育部長（小川雅弘君） 具体的な手順といたしましては、5月に、市内各小中学校に対し、通学路における危険箇所の調査を依頼し、その年度の点検箇所を決定いたします。

点検の実施、その後の対応については、8月に、山武警察署、山武土木事務所、印旛土木事務所、山武市土木課、市民課、小学校代表、PTA代表と、合同現地点検を行い、危険箇所の確認・改善を検討するものです。

山武市の通学路は、広域のため、山武地区、成東地区、松尾・蓮沼地区の3地区に分け、1年ごとの合同点検を行っております。

また、緊急を要する箇所や前年度点検できなかった箇所について、こちらでも実施することになっております。

12月には、合同点検に参加したメンバーによる通学路安全推進会議を開催し、それぞれの進捗状況及び今後の見通しについて、確認・検討いたします。

最終的には、2月に最終状況の確認をとり、来年度以降にかかる箇所について、引き続き、関係機関との連携を図るものでございます。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） しっかりと段取りをとって、点検をされているということは、よくわかりました。先ほど私が申し上げた、例えば、例に対して、こういうことがないように、今後どうするべきなのか、市はどういうふうに改善をされていくのか、見解をお伺いしたいと思います。

○副議長（能勢秋吉君） 教育長、御登壇願います。

○教育長（嘉瀬尚男君） 南郷小学校につきましては、平成27年度に10カ所の要望が出ており、そのうち、津波避難道路整備事業で継続中の箇所以外は、全て対応済みとしておりましたが、御指摘の箇所につきましては、大変申しわけございませんでした。

通学路の危険箇所については、PTAや地域の方々の御協力をいただきながら、学校からの情報を集約しているところでございますが、今回、御指摘のように、危険箇所としての情報が把握できていないところもございましたので、今後、学校や関係機関との連携を、さらに密にしながら、多くの情報収集に努め、児童生徒が安心して通学できるように取り組んでまいりたいと思います。

○副議長（能勢秋吉君） 石川議員。

○2番（石川和久君） ぜひよろしくをお願いします。

何点か要望をさせていただきました。検討していただけるということで、よく、先輩議員には、検討するということは、執行部のやらないということだよとおどしをかけられた

ことはありますけれども、ぜひしっかりと取り組んでいただきたいと思ひまして、そこをお願い申し上げまして、終わりにさせていただきます。ありがとうございました。